

12月30日のウクライナ情報

安齋育郎

①ウクライナ軍ミサイルで揚陸艦損傷 攻撃の戦闘機 2機は破壊＝露国防省(2023年12月27日)

露国防省は26日、#クリミア半島の黒海沿岸・フェオドシアでウクライナ軍による空爆を撃退する過程で、露軍の大型揚陸艦ノボチェルカスクが損傷したと発表した。

同省の発表によると、露軍は対空防衛システムによって、ミサイルを発射したウクライナ軍のSu24戦闘機2機を、ウクライナ南西部のニコラエフから約125キロ北東の地点で破壊した。

また、クリミア共和国のセルゲイ・アクショーフ首長によると、この攻撃で1人が死亡、2人がけがをした。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1739544163568226413?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwamp%5Etweetembed%7Ctwterm%5E1739544163568226413%7Ctwgr%5Ec3a48bb845b8189a3e645d7670c79cd77ffc3873%7Ctwcon%5Es1&ref_url=https%3A%2F%2Fsputniknews.jp%2F20231227%2F263-17839560.html

②【アメリカ崩壊】”2024 米大統領選” もはや民主主義は崩壊! 共産主義へまっしぐら! トランプ立候補資格剥奪?!(及川幸久×石田和靖、2023年12月29日)

<https://youtube.com/watch?v=qCbeXro-w88&si=Tyw6FuFJ9BAbuury>



<https://www.youtube.com/watch?v=qCbeXro-w88>

③日本の破壊的な措置は対露関係をさらに悪化＝ロシア外務省(2023年12月28日)

ロシアのアンドレイ・ルデンコ外務次官は武藤顕駐モスクワ日本大使との会談で、#岸田 文雄内閣は破壊的措置をとり続けることで、両国関係をさらに悪化させ、アジア・太平洋地域の緊張をエスカレートさせるリスクを生んでいると指摘した。ロシア外務省がこうした声明を発表。

武藤顕駐ロシア日本大使はアンドレイ・ルデンコ露外務次官との会談で、日本が米国に輸出する迎撃ミサイル「パトリオット」はウクライナで使用されることはないと言った。

武藤大使は、米国へのパトリオット #ミサイル の輸出の決定は日本の #安全保障 とインド太平洋地域の平和と安定への寄与に限定したものであり、ウクライナで使用されることは想定されていないと答えた。

在ロシア日本大使館の発表によれば、武藤大使はルデンコ外務次官がウクライナでパトリオットミサイルが使用される可能性に懸念を示すと、日本は自国の安全保障に好都合な条件と、対露関係における対話と相互関係の創設に引き続き邁進していくと述べた。

これより前、ホワイトハウスは日本政府がパトリオットミサイルの米国への輸出を決定したと発表していた。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1740406235059335489

④制裁から経済成長へ(2023年12月29日)

ロシアがウクライナで特別軍事作戦を開始した直後、ゼレンスキーは、ロシア人に 1 センターボも渡らないよう、西側の企業にロシアを去るよう呼びかけ、それに多くの企業が応えた。

これにより、政治家や経済「専門家」は、ロシア経済は苦しくなり、クレムリンの息の根を止めるだろうと予測した。

ホワイトハウスではジョー・バイデンが「西側がロシア経済に圧力をかけている」と豪語していた。

「ロシアから出ていく企業や国際的協力団体のリストは日々伸びている」と米国大統領はコメントし、「ロシアが西側の企業のすべての職場、生産、収入を失えば、壊滅的な影響を受ける」と言って、ルーブルの下落を祝福した。

しかし、プーチンが、西側の主要な企業の撤退をロシアにとって予想もできない利益に変える新たな計画を立てていることは語られなかった。

それは、撤退した企業の資産を格安価格で買うことを国と民間企業に許可することだった。

これにより、コカ・コーラはドーブロイ・コーラ、マクドナルドはヴクスノ・イ・トーチカ、スターバックスはスターズ・カフェ、クリスピー・クリームはクルンスキー・ドリームに生まれ変わった。

このように、ロシアから撤退した企業は地元の投資家に買い取られ、別な名前で営業が続けられた。

同様に、世界最大のエレベーターの会社オーチスワールドワイドやシーメンス、キャタピラーなど産業分野の大企業もロシアの企業家たちの手に渡った。ロシアの市場から去ることを決めた企業の前年の税金は少なくとも 12 億 5000 万ドルが国庫に入っていた。

一方、そうした企業は紛争開始以降、1,030 億ドル以上の損失を受けたという。

多くの西側の企業の撤退にも関わらず、今日、ロシアは巨大な市場であり続けており、何十年も投資してきた資産を失わないため、多くの外国企業もロシアにとどまっている。



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1740564841126039903?s=09

⑤ロシア魂(2023年12月28日)

私はマリウポリ出身。見て、何も変わらない。プーチンがやってくれていることにとても感謝してる。だって、マリウポリで起きていた事は到底受け入れられないもの。

祖父たちが勝利したように私たちは勝つわ！

ナチズムを完全に排除。地上から消し去る！



https://twitter.com/Kumi_japonesa/status/1740319884192727358?s=09

⑥プラハのウクライナ大使館パスポートセンターへの行列(2023年12月28日)

ここにいる多くの人が、道端で青と黄色の布を振り撒くのが大好きで、カメラ持って近づいたら、長々と【ウクライナへの愛】の気持ちを語ってくれる。

来年から徴兵のために登録されるから、パスポート更新は今のうち。

ウクライナへの愛でした。

<https://twitter.com/i/status/1740356435295515018>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1740356435295515018?s=09>

⑦キエフで多層ビルに突っ込んだ飛行:AFU の防空が原因である証拠(2023年12月29日)

このビデオは、起きていることの本質をよく表しており、その原因が「ウクライナの不正な防空」にあることを示す最高の証拠である。家屋に命中する前に、炎に包まれた物体が見える。

通常、ミサイルがこのような飛ぶことはない。これはおそらく損傷して炎上した CR だろう。

<https://twitter.com/i/status/1740650628979056989>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1740650628979056989?s=09>

⑧ロシアの S.V.ラブロフ外相(2023年12月29日)

新年の始まりとともに、ロシア連邦は BRICS の議長国となる。議長国として BRICS の舵取りをするに当たり、そのスローガンとなるのは『公正な世界の発展と安全保障のための多国間主義の強化』である。議長国としての我々の務めは、2024 年 10 月に開催予定の BRICS カザン・サミットにおいてクライマックスを迎える。

世界は益々多様化し、自立したプレイヤーが増えている。しかしそれはまた、世界をより複雑なものにしている。

最も鮮やかな例の一つが、BRICS での協力である。BRICS の枠組みにおいてさまざまな宗教、地域、文明を代表する国々が、長年にわたり実り多い協力を続けてきた。

実際のところ、従来の『北と南』、『西と東』のラインの上から BRICS は協力のための独自の『ネット』を掛けたと言える。

新たな加盟国を迎え、当然ながら BRICS の作業はより多面的なものとなり、合意に至るのにもより多くの時間を要することになるだろう。すでに BRICS に加盟した国々の他にも、約 30 ヶ国が BRICS とパートナー関係を結ぶことを望んでいる。

多極化世界の柱の一つとして BRICS の立場を強化することを目指し、我々は取組みを続けていく。多極化世界は、世界の大多数を占める国々をはじめ、地域の基盤を強化した上に形成されるのである。



<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1740296439182631118?s=09>

⑨ロシア外務省の M.V.ザハロフ報道官によるブリーフィングより(2023年12月29日)

我が国が意図的に化学兵器を使用していると非難する新たなキャンペーンを国連機関や世界のメディア組織で展開するために、西側製の有毒物質を使用した反ロシアの新たな挑発行為が行なわれる可能性を除外できない。

入手情報によると、この挑発行為の準備にはウクライナ保安庁が積極的に関与して、化学試薬・前駆体の輸入を専門とするキエフ所在のウクライナ企業『リアラブ(Realab)』(キエフ所在)の協力を得ている。2023 年 10 月から 11 月にかけてリアラブ社を通じて、米国企業『ハネウェル・リサーチ・ケミカルズ』(ドイツ・ゼルツ市)の製造によるトリエタノールアミンと含窒素ナトリウム化合物の『少量バツ

チ』がドイツ国内で購入されている。

トリエタノールアミンは化学兵器禁止条約の附属書に記載されており、毎年申告を行わなければならない。この化合物は、皮膚に水疱を生じさせる有毒物質ナイトロジェンマスタードガスの合成に使われる前駆体である。含窒素ナトリウム化合物は非常に毒性が高く、青酸カリと同様の致死効果がある。

ロシアの専門家の見解では、ウクライナ保安庁はキエフ政権支配領土内のロシア軍の作戦線で限定的規模の挑発行為を行なうために、戦闘用有毒物質を製造する目的でこれらの化学物質を使用する可能性があるという。

マスタードガスは第一次世界大戦当時から知られている。しかしヒトラーさえも認める条約で禁止されていたため、第二次世界大戦で使用されることはなかった。

ところがウクライナのネオナチストたちは、ファシストの偶像よりもさらに先へと突き進もうとしているのである。



<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1740541126556438739?s=09>

⑩「軍事分野において西側のほうが技術的に優れているというのは神話」露ロステックのCEOがスプートニクのインタビューで語る(2023年2月28日)

ロシアの設計者たちは戦利品を研究し、そこから導き出した複数の解決策に注意を払っているが、それと同時に、西側のほうが技術的に優れているという発言が神話であることは明らかだ。ロシアの国営企業ロステックのセルゲイ・チェメゾフ最高経営責任者(CEO)が、スプートニクのインタビューで語った。

〈その他の要旨〉

●ロシアの主力戦車 T-90M「プロリフ」は、世界最高の現役戦車。同戦車は西側の多くの戦車よりも優れており、これを西側の専門家たちも認めている。

●ロシアでは電子戦システムに対する高度な防御を備えた新たな徘徊型兵器「スーパーカム」が開発されており、現在テストが行われている。

●ロシアの防空システムと電子戦システムは #ウクライナ 軍のドローンが飛行できない空域をつくりだし、数十機単位で破壊している。

●ウクライナ軍の装備数は急速に減少しており、これらの損失をウクライナの軍産複合体が補うこ

とはできない。さらに外国からの援助も減少しており、外国ではウクライナ支援の見通しが暗いことを認識し始めているようだ。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1740032897224950239?s=09

①エルドアン大統領(2023年12月28日)

私たちの目の前で 80 日間、人類の価値が破壊されているのを見てきた。ガザのスタジアムの中にイスラエルのナチス収容所ができたのを見ましたね？ヒトラーと何が違うのか？ネタニヤフがしていることは、ヒトラーほどひどくないのか？ノー。

ネタニヤフは西側諸国から支援を受けている。あらゆる支援が米国から来ている。その支援で何をしたのか？2万人のガザの人々を殺害した。ドイツは未だにヒトラーの代償を払っている。だからドイツは声を上げないのだ。彼らは言われるがままだ。しかし我々は誰にも何も借りはない。

<https://twitter.com/i/status/1740112320712352016>



https://twitter.com/matatabi_catnip/status/1740112320712352016?s=09